

図書館だより



2021年
夏休み号
敷島中 図書館

いよいよ夏休みを迎えます。「夏休み」とはいえ、部活動や勉強・課題など、いつも以上に取り組むことがたくさんあります。限られた時間を有効に使えるように、しっかりと計画をたて、有意義な夏休みにしましょう！

夏休みに全校が取り組む課題のひとつに「読書感想文」があります。このおたよりでは、感想文を書く際の注意点をのせました！ぜひ参考にして取り組んでください。



夏休み中の本の貸し出し



部活の帰りに寄ったり、読み終えてしまった本を返却したりできるよう、下記の日程で図書館を開館します！

夏休み中の 図書館 開館日

8月3日(火)・6日(金)・20日(金)

☆開館時間…8時30分～12時00分

☆利用上の注意点 ○図書館入館時に体温を測り、所定の用紙に記入をしてもらいます。

○入館の際はマスクを着用し、いつも通り手指の消毒をしてください。

○図書館内で読書や勉強はできません！

本の貸出・返却が終わったら、すみやかに帰りましょう。

夏休み用に借りた本の返却日は
8月27日(金)です

夏休み中の甲斐市立図書館の予定



敷島総合文化会館の空調工事に伴い、敷島児童図書館が8月2日(月)～休館します。1F 一般図書館は通常通りの開館です。

例年涼しくて静かなところで勉強したい!!という人は

公共図書館を利用して勉強していたかもしれませんが、新型コロナウイルス感染予防のため、公共図書館でも机やイスの使用ができません。HPで利用状況などを確認してから利用しましょう！



夏季期間7月26日(月)～8月27日(金)は開館時間が早くなります！

*開館時間:平日 9:00～19:00

土日 竜王9:00～18:00 敷島9:00～17:00

*休館日:HP・甲斐市広報 に掲載されています。

◆利用するにあたっての注意点◆

☆開館日・開館時間は通常通りですが、利用可能時間は入館から1時間以内です。

☆本の貸出・返却・利用期間は通常通りです。(20冊・2週間借りることができます！)

☆読書席・学習室は利用することができません。

☆(学校と同様に)入館する際はマスクを着用し、出入り口で手指の消毒をしましょう！

☆外出の前に体温を測り、体調管理を心がけましょう。また外出先でもソーシャルディスタンスを保ちましょう。



第67回青少年読書感想文 全国コンクールについて



<対象図書>

○自由読書…自由に選んだ図書。フィクション・ノンフィクション・ジャンルを問いません。

○課題図書…『with you(ウィズユー)』 濱野京子／作 くもん出版

『日本植物学の父 牧野富太郎』 清水洋美／著 汐文社

『アーニャは、きっと来る』 マイケル・モーパーゴ／作 評論社

※本の内容については、6月の図書館だよりを参考にしてください！



<書き方・注意点> *コンクールの形式を守らないと選考の対象外になることもあります！

◆字数は400字詰め原稿用紙5枚以内(本文2,000字以内)です。「以内」とはいえ、字数の目安は作文用紙5枚目の半分以上(1800字から2000字以内)です。

◆句読点(「、」や「。」)はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白箇所も字数として数えます。

自分が読んだ本の区分(自由図書なのか、課題図書なのか)を上部に書きます。(※「中」は中学校の意味です)

作文用紙の1行目から本文を書き出します。作文用紙の使い方を守り、丁寧な字で書きましょう!!

読んだ本の書名・著者名・出版社名は作文用紙の1ページ目の右下の余白に書きます。

感想文の題名・学校名・学年・名前は作文用紙の右側の余白(マスの外)に書きます。

「中自由」「中課題」

感想文の題名

数島中学校〇年〇名前

「読んだ本の書名」 著者名 出版社名

<お助け感想文☆バランスの良い配分について> ※あくまで例です。この通りの配分でなくても構いません。



○原稿用紙1枚目には…

この本を読んだきっかけについて書いてみよう! (→書き出しは読む前の自分について書こう)

○2~4枚目には…

読んで、感じたことを本の内容と照らし合わせながら書いてみよう! (→読中の気持ちの変化を書こう)

○5枚目には…

この本を読んだことがきっかけで自分が変わった・成長したことを書いてみよう! (→まとめ)



これだけは気をつけよう!

*文体はそろえよう!…文体には「です・ます」体と「だ・である」体があります。どちらの文体で書いても構いませんが、ごちゃまぜにならないように全体の文体を統一させましょう!

*自分で表現しよう!…インターネットサイトに感想文の模範例が掲載されていることがありますが、盗用はいけません!! 先生が読めば、わかります! しっかり自分の心と対話しながら取り組みましょう。

